



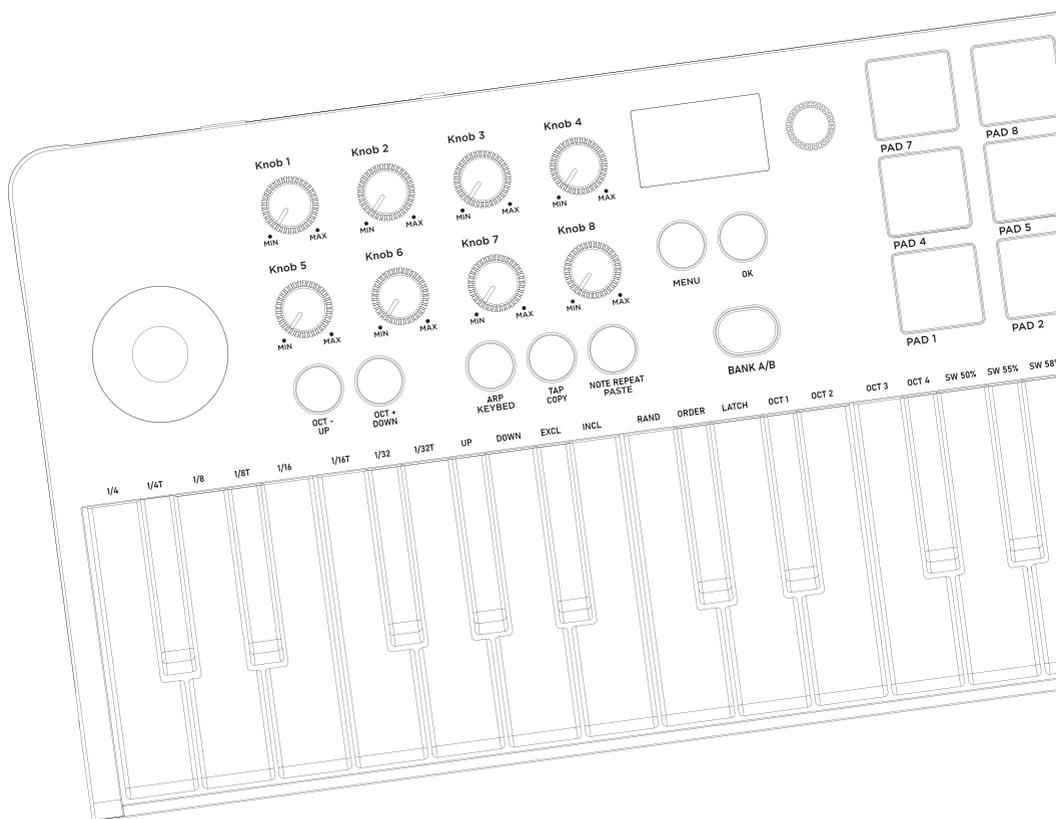
Classic Pro

MIDI KEYBOARD

CMK25BW

取扱説明書

Ver. 1.0



株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

www.soundhouse.co.jp

E-mail: shop@soundhouse.co.jp

TEL: 0476-89-1111

FAX: 0476-89-2222

安全上の注意

- ・ 本製品のカバーを開けないでください。
- ・ 本製品を修理しようとしたり、内部の部品を交換しないでください。
- ・ 次の場所で本製品を使用または保管を避けてください。極端な温度にさらされる場所(例:密閉された車内の直射日光、暖房ダクト付近、発熱機器の上)、湿気のある場所(例:浴槽・洗面所・濡れた床の上)、高湿度、雨にさらされる場所、ほこりが多い場所、強い振動がある場所。
- ・ ラックやスタンドに取り付けて使用する場合は、水平で安定した場所に設置してください。ラックやスタンドを使用しない場合でも、水平にしっかり支え、ぐらつかない場所を選んでください。
- ・ 可燃物・硬貨・ピンなどの物体や、水・清涼飲料などの液体が本製品内部に入らないようにしてください。
- ・ 本製品に強い衝撃を与えないでください。
- ・ 取り外したキャップ類や付属の蝶ネジは、誤飲の恐れがないようお子様の手の届かない安全な場所に保管してください。
- ・ 定期的に電源コードを抜き、乾いた布でプラグの金属部分に付着したほこりや汚れを拭き取ってください。また、本製品を長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。プラグとコンセントの間にほこりがたまると、絶縁不良や発火の原因になります。
- ・ ケーブル類がからまないようにしてください。配線はお子様の手の届かない場所を選んでください。
- ・ 本製品の上に乗ったり、重い物を載せないでください。
- ・ コンセントや本製品に電源プラグを抜き差しする際、濡れた手で電源コードやプラグを触らないでください。
- ・ 本製品を移動する前に、外部機器からのすべてのケーブルを取り外してください。
- ・ 本製品を清掃する前に、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 雷の可能性がある場合は、ケーブルをコンセントから外してください。

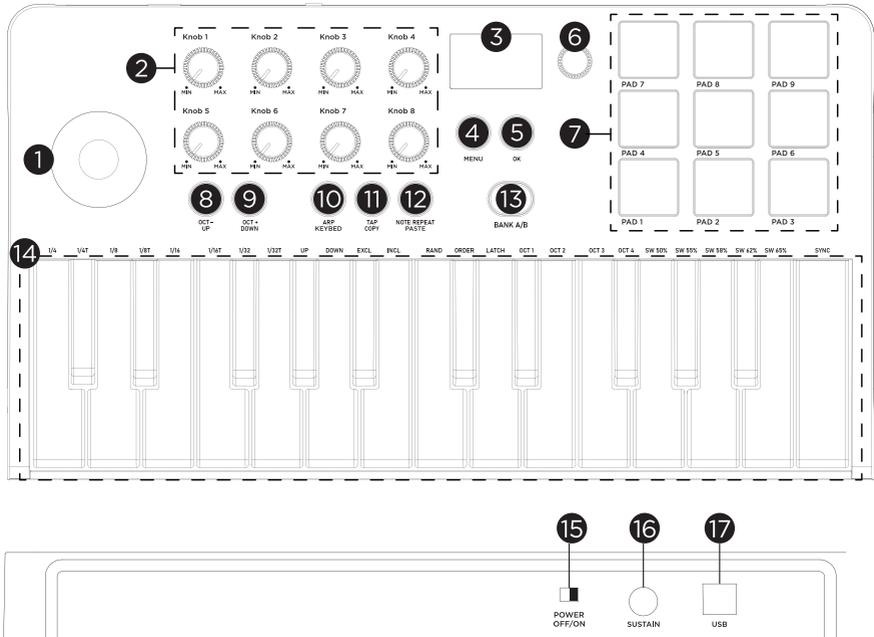
メンテナンス

- ・ 日常のお手入れは、柔らかい乾いた布、または少量の水で軽く湿らせた布で拭いてください。頑固な汚れには、研磨剤を含まない中性洗剤をしみ込ませた布を使用してください。仕上げに、柔らかい乾いた布で水分をよく拭き取ってください。
- ・ 変色や変形の恐れがあるため、ベンジン、シンナー、アルコール、その他の溶剤は使用しないでください。

その他の注意

- ・ 本製品のメモリーは、故障や不適切な操作により回復不能になる場合があります。
- ・ 本製品のボタンやコントロール、ジャックやコネクターの操作は丁寧に行ってください。乱暴な扱いは故障の原因になります。
- ・ ディスプレイをたたいたり、強い力を加えないでください。
- ・ ケーブルの接続／取り外しは必ずコネクタ部を持って行ってください。ケーブルを引っ張らないでください。ショートや内部断線の原因になります。

トップパネル・サイドパネル



- ① ジョイスティック
- ② アサインابلノブ
- ③ LCDスクリーン
- ④ [MENU]ボタン
- ⑤ [OK]ボタン
- ⑥ 選択ノブ
- ⑦ パッド
- ⑧ オクターブダウン
メニュー機能: アップ
- ⑨ オクターブアップ
メニュー機能: ダウン
- ⑩ アルペジエーター
メニュー機能: KEYBED
- ⑪ ARP (アルペジエーター)
メニュー機能: コピー
- ⑫ リピート
メニュー機能: ペースト
- ⑬ バンク A/B
パッドグループ切り替え
- ⑭ キーボード
- ⑮ 電源スイッチ
- ⑯ ペダル接続端子
- ⑰ Type-B USB ポート

基本機能

1. 電源オン

付属のUSBケーブルを使って、CMK25のUSBポートとPCのUSBポートを接続してください。この接続により、PCのUSBポートからCMK25に電源が供給され、PCとの間でMIDIデータを送受信します。

2. メニュー

- 1) MENUボタンを押してメニューページに入ります。
- 2) UP/DOWNボタンでリストを切り替えます。
- 3) セレクションノブを回してパラメーターを調整します。
- 4) OKボタンを押して保存します。

pad5	
Mode	Note
MIDI Ch	10
Note	45
Curve	Normal
Aftertouch	channel

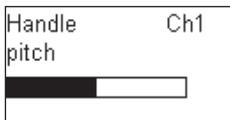
3. プログラム選択

20種類のプリセットパラメーターグループには、12個のユーザープリセットと、Cubasis、Cubase、Garageband、Chrona Pads、Major Pads、FL Studio、Logic Pro X、Ableton Live用のプリセットが含まれます。すべてのプリセットは編集できますが、名称は変更できません。

4. ジョイスティック

左右に動かしてピッチを調整します。

上下に動かしてモジュレーション用のMIDIメッセージを送信します。初期値はCC#1です。



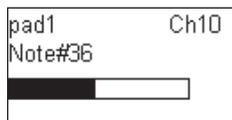
5. 機能割当てノブ

各ノブを回してMIDI CCメッセージ(Control Change Message)を送信します。

各ノブは、メニューでCCまたはアフタータッチモードの選択、およびMIDIチャンネルの設定が可能です。



6. パッド



パッドは、ソフトウェア内のドラムヒットやその他のサンプル音をトリガーできます。ペロシティ対応で、反応性が高く直感的に演奏できます。

NoteまたはCC Nモードで動作します。

Noteモードでは、アフタータッチ機能が規定に設定されています。

CC Nモードでは指定するMIDIチャンネルを変更できます。

7. BANK A/B

BANK A/Bボタンを押して、パッドをグループA(オレンジ色インジケータ)またはグループB(緑色インジケータ)に切り替えます。

グループAに対応するパッドはPAD1-PAD9、グループBに対応するパッドはPAD10-PAD18です。

8. Octave UP/DOWN

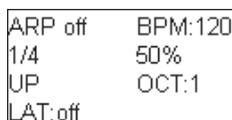
これらのボタンでキーボードのオクターブを上下にシフトします(最大で上下各4オクターブ)。規定のオクターブから上下に移動した場合、該当するOctaveボタンが点灯します。増減したオクターブ数に応じて、該当ボタンが同じ回数だけ点滅します。

9. アルペジエーター

ARPボタンを押してアルペジエーターをオン/オフします。

ARPボタンを押しながら、対応するキーボードのキーを押すと、アルペジエーターの設定を変更できます。

内蔵メトロノームがオンの場合、ARPボタンを押しながらセレクションノブを回すと、内蔵メトロノームの速度を調整できます。

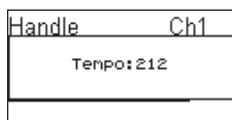


10. メトロノーム

ARPまたはNOTEREPEATがオンのとき、TAPボタンは現在のメトロノームテンポで点滅します。

メトロノームがオンのときは、希望するテンポでTAPボタンを連打して、メトロノームのテンポを設定してください。

DAWと連携しているときなど、外部メトロノームと同期している場合、TAPボタンは外部メトロノームのテンポで点滅します。



11. ノートリピート

ノートリピート機能は、パッドがNoteモードのときのみ動作します。

NOTE REPEATボタンを押してノートリピート機能をオン/オフしてください。

ノートリピートがオンのときにパッドを叩くと、アルペジエーターで設定したノートとベロシティのパラメーターに従ってMIDIコードを繰り返し送信します。ベロシティ値は、現在叩いたパッドの強さになります。

12. サステインペダル入力

オプションのサステインペダル(TSフォン)をこの入力に接続してください。

プリセットパラメーターの編集

1. 機能割当てノブのパラメーターを変更

MENUボタンを押し、対象の機能割当てノブを回して選択してください。

◇ノブがCCコマンド動作モードの場合、以下を変更できます。

- ① MIDIチャンネル
- ② CC番号
- ③ CCの最小値と最大値

knob3	
Mode	CC
MIDI Ch	1
CC	72
Min	0
Max	127

◇ノブがアフタータッチ動作モードの場合、以下を変更できます。

- ① MIDIチャンネル
- ② アフタータッチの最小値と最大値
- ③ キーアフタータッチまたはチャンネルアフタータッチの選択

knob3	
Mode	Aftertouch
MIDI Ch	1
Min	0
Max	127
Aftertouch	channel1

2. パッドのパラメーターを変更

MENUボタンを押し、編集したいパッドを叩いて選択し、パラメータを変更します。

◇パッドがNote動作モードの場合、ソフトウェア内のドラムヒットやその他のサンプルをトリガーできます。

- ① パッドのMIDIチャンネル
- ② MIDIノート
- ③ ベロシティカーブ
- ④ アフタータッチ(キーアフタータッチまたはチャンネルアフタータッチの選択)

pad5	
Mode	Note
MIDI Ch	10
Note	45
Curve	Normal
Aftertouch	channel1

◇パッドがCC Nモードの場合、パッドを叩くたびにCCコマンドを送信します。

- ① CCコマンドのMIDIチャンネル
- ② CCコマンドの値

pad5	
Mode	CC N
MIDI Ch	10
CC	20

◇パッドがCCトグルモードの場合、パッドを叩くたびに、キーボードからトグルオン/オフの値が循環的に送信されます。

- ① CCコマンドのMIDIチャンネル
- ② CCコマンドのCC番号
- ③ トグルオン値とトグルオフ値

pad5	
Mode	CC Toggle
MIDI Ch	10
CC	20
Toggle On	127
Toggle Off	0

◇パッドがCCモーメンタリー (CCM) モードの場合、パッドを押す/離す操作ごとに、キーボードから Pressed/Releasedコマンドの値が送信されます。

- ① CCコマンドのMIDIチャンネル
- ② CCコマンドの値
- ③ Pressed値とReleased値

pad5	
Mode	CC M
MIDI Ch	10
CC	20
Pressed	127
Released	0

◇パッドがプログラムチェンジ動作モードの場合、以下を変更できます。

- ① プログラムチェンジのMIDIチャンネル
- ② プログラムチェンジの値

pad5	
Mode	Program
MIDI Ch	10
Program	4

3. ペダル(サステイン)のパラメーターを変更

MENU内でペダルを踏んで選択してください。以下を変更できます：

- ① サステインのMIDIチャンネル
- ② サステインのCC番号
- ③ Pressed値とRelease値

sustain	
MIDI Ch	1
CC	64
Pressed	127
Released	0

4. KEYBED(鍵盤)のパラメーターを変更

MENU内で[KEYBED]ボタンを押し、KEYBED設定画面に入ってください。以下を変更できます：

- ① KEYBEDのMIDIチャンネル
- ② KEYBEDのトランスポーズ値(上下に移調、最大±12半音)
- ③ KEYBEDのベロシティカーブ
- ④ オクターブ値

keybed	
MIDI Ch	1
Transpose	0
Octave	0
Curve	Normal

5. ジョイスティックのパラメーターを変更

ジョイスティックを動かして選択し、MENUボタンを押してメニューページに入ってください。セレクションノブを回してMIDIチャンネルを変更できます。

Pitch	
MIDI Ch	1

6. パッドのパラメーターをコピー&ペースト

MENU内でパッドを叩いて選択し、COPYボタンを押してください。該当パッドが3回点滅し、そのパッドのすべてのパラメーターがコピーされたことを示します。別のパッドを叩いて選択し、PASTEボタンを押してください。そのパッドも3回点滅し、前のパッドからコピーしたパラメーターが元の設定を上書きしたことを示します。

pad4	
Mode	Note
Copy pad4	
Aftertouch	channel

pad5	
Mode	Note
Copy pad4 to pad5	
Aftertouch	channel

工場出荷時設定に戻す

スタンバイ状態(MENUに入らない)で、OKボタンを5秒間押し続けてください。リセットのダイアログボックスが表示されます。セレクターノブを回して「Yes」を選択し、最後にOKボタンを押して確定してください。キャンセルする場合は「No」を選択し、OKボタンを押してリセットを終了してください。

Octave0	Ch1
Confirm Delete All?	
<input checked="" type="radio"/> No	<input type="radio"/> Yes



Classic Pro